



2022年10月25日

各位

会社名株式会社マクアケ  
代表者名代表取締役社長 中山 亮太郎  
(コード番号：4479)

問い合わせ先 執行役員  
経営管理本部長 田村 祐樹  
TEL. 03-6328-4038

### 特別損失の計上及び2022年9月期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2022年9月期（2021年10月1日～2022年9月30日）において以下のとおり特別損失の計上を行いましたので、お知らせいたします。また、2022年9月9日に公表いたしました2022年9月期の修正業績予想と本日開示の実績値に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

#### 1. 特別損失の計上

当社は、2022年9月期の損益水準を踏まえて今後の事業計画を見直す過程で減損の兆候を把握し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来キャッシュ・フローと固定資産の帳簿価額及び残存耐用年数等を比較検討した結果、ソフトウェアを中心とした固定資産の減損損失1,009百万円を計上することといたしました。

#### 2. 2022年9月期通期 業績予想と実績値の差異（2021年10月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益 (△損失)	経常利益 (△損失)	当期純利益 (△損失)	1株当たり 当期純利益 (△損失)
前回発表予想 (A)	百万円 4,200	百万円 △360	百万円 △340	百万円 △350	円 銭 △27.94
実績値 (B)	4,206	△324	△302	△1,347	△107.55
増減額 (B-A)	+6	+35	+37	△997	-
増減率 (%)	+0.2	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2021年9月期)	4,621	329	326	246	20.44

### 3. 差異が生じた理由

当社は、2022年9月9日に2022年9月期の通期業績予想の修正を発表した後から足元の業績進捗を見ながら当社を取り巻く外部環境の不透明さによる事業への影響度合いについて慎重に検討を重ねてきました。直近、リ・オープニングによる商流及び消費のオフラインへの揺り戻しが顕在化している中、円安、原材料価格の高騰等により、事業者及び消費者動向の先行きの不透明さがさらに増しております。これらのことから、外部環境におけるプラス/マイナス要因を加味した際の当社の地力値および今後の事業計画を見直し、2023年9月期における売上高は3,840百万円（前年同期比8.7%減）、営業損失は△880百万円（前年同期は営業損失△324百万円）、経常損失は△880百万円（前年同期は経常損失△302百万円）、当期純損失は△890百万円（前年同期は当期純損失△1,347百万円）を予想しております。

その結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来キャッシュ・フローと固定資産の帳簿価額及び残存耐用年数等を比較検討することとなり、ソフトウェアを中心とした固定資産の減損損失1,009百万円を計上することといたしました。これにより、当期純損失は1,347百万円となりました。

以上